

第 141 回島根県立大学教育研究評議会議事要旨

(2019 年度 第 8 回)

- ・日 時 令和元年 12 月 24 日 (火) 15:00～16:00
- ・場 所 浜田キャンパス本部棟会議室 出雲キャンパス大会議室
松江キャンパス大会議室
- ・出席者 清原学長、山下学長代行、井上厚史副学長、石橋副学長、岸本副学長、
林総合政策学部長、梶谷看護栄養学部長、福原北東アジア開発研究科長、
吾郷教務部長、松浦教務部長、濱田学生生活部長、名和田学生生活部長、
小柳学生生活部長、狩野別科長、李北東アジア地域研究センター長、藤
原しまね地域研究センター長、落部事務局長
- ・欠席者 岩田人間文化学部長、犬塚教務部長

○第 140 回教育研究評議会の議事要旨の確認について

第 140 回教育研究評議会の議事要旨について、原案どおり承認された。

《審議事項》

(1) 教員人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成 (案) について (出雲キャンパス)

石橋副学長から、教員人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成 (案) について、報告事項 2 と合わせて資料 (略) により説明があり、教育研究評議会人事委員会に井上副学長を追加することも承認された。

(2) 非常勤研究員の選考について (浜田キャンパス)

李北東アジア地域研究センターから、非常勤研究員の選考について、資料 (略) により説明があり、承認された。

(3) 非常勤講師の任用について (浜田キャンパス)

林総合政策学部長から、非常勤講師の任用について、資料 (略) により説明があり、承認された。

(4) 看護栄養学部授業運営細則及び別科授業運営細則の改正について (出雲キャンパス)

吾郷教務部長から、看護栄養学部授業運営細則及び別科授業運営細則の改正について、資料 (略) により説明があり、承認された。

濱田学生生活部長より、今後各キャンパスで内容を統一していくべきか確認があり、清原学長から、統一していくべきと考えており、今後、内容を教務連絡会議で調整してもらいたい旨の回答があった。

(5) 令和 3 年度入学者選抜における予告内容変更について (浜田キャンパス)

岩本アドミッションセンター長及び清原学長から、令和 3 年度入学者選抜における予告内容変更について、資料 (略) により説明があり、承認された。

(6) 放送大学大学院との単位互換に関する協定の締結について（出雲キャンパス）

石橋副学長から、放送大学大学院との単位互換に関する協定の締結について、資料（略）により説明があり、承認された。

(7) その他

なし

《報告事項》

(1) 嘱託助手（学長補佐）の採用予定者について（浜田キャンパス）

学長及び事務局から、嘱託助手（学長補佐）の採用予定者について、資料（略）により報告があった。

(2) 専任教員の選考開始の学長発議について（出雲キャンパス）

※審議事項1で説明済みのため、省略

(3) 専任教員の昇任について（出雲キャンパス）

石橋副学長から、専任教員の昇任について、資料（略）により報告があった。

(4) 専任教員の昇任について（松江キャンパス）

岸本副学長から、専任教員の昇任について、資料（略）により報告があった。

(5) 令和2年度事務局組織の改編について（事務局長）

落部事務局長から、令和2年度事務局組織の改編について、資料（略）により報告があった。

(6) その他

清原学長から口頭により、①地域政策学部地域づくりコースの募集定員を、45名から50名に増やすことを県総務部に報告し、了解を得たこと、②しまね地域マイスター認定制度について、教務連絡会議等を通じて、全学的観点から各学部学科で改めて検討してもらいたいこと、③松江市にある有形文化財（建造物）の活用を、今後検討していきたい旨の報告があった。

林総合政策学部長より、しまね地域マイスター認定制度に関して、各学部学科で主体的に判断することが適当である旨の発言があり、清原学長から、そのとおりであり、調整が必要な場合は、教務連絡会議や林総合政策学部長に任せたい旨の発言があった。

濱田学生生活部長より、募集定員を増やすことについて、教員数の設置基準は満たしているのか確認があり、清原学長から、問題ないとの回答があった。